

安全データシート(SDS)

1. 化学品及び会社情報

製造者情報	会社	ホーザン株式会社
	住所	大阪市浪速区幸町1-2-12
	担当部門	マーケティンググループ
	お問い合わせ窓口	ホーザンテクニカルホットライン
	電話番号	06(6567)3132
製品番号	Z-277	
製品名	ESD対策コーティング剤	
推奨用途	帯電防止塗料	

2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 区分に該当しない。

GHSラベル要素 : 区分に該当しない。

GHS分類に該当しない他の危険有害性

: 知見なし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 : 混合物

含有成分及び含有量 :

化学名又は一般名	CAS No.	含有量 (質量%)
ウレタン樹脂	-	9.3
二酸化スズ	18282-10-5	9.8
五酸化アンチモン	1314-60-9	0.5
水	7732-18-5	78.2
添加剤	-	1.5
その他	-	0.7

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

: 非該当

労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)

すず及びその化合物(政令番号:322)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条第2項、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

アンチモン及びその化合物(政令番号:38)

毒物及び劇物取締法 : 対象外

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 意識がない場合は、回復体位をとらせ、医師の指示を受ける。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣服と靴を脱ぐ。
石鹼と多量の水で洗い流す。
- 眼に入った場合 : コンタクトレンズを着用している場合は外す。
損傷していない眼を保護する。
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
- 飲み込んだ場合 : 口内を水ですすぐ。
水を大量に飲ませる。
直ちに医師の診察を受ける。
被災者に意識がない場合は、口から何も与えてはならない。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 知見なし
- 医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じた治療を行う。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 耐アルコール泡消火剤、二酸化炭素(CO₂)、粉末消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 棒状注水
- 特有の危険有害性 : 本製品自体は燃焼しない。
- 有害燃焼生成物 : 燃焼により刺激性の煙霧が発生する。
- 特有の消火方法 : 化学物質火災に対する標準手順に従う。
現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火活動時には、必要に応じて自給式呼吸装置を装着する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- : 屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気する。
漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
処理作業の際には、保護具(ゴム手袋、保護眼鏡、呼吸用保護具等)を着用し、皮膚への付着やガス・蒸気の吸入を防ぐ。
風上から作業し、風下の人を退避させる。
着火した場合に備えて、消火用機材を準備する。
多量の場合は、人を安全に退避させる。

環境に対する注意事項

- : 漏出物が河川等に流入しないように注意する。
河川等へ流入した場合は必要に応じて、消防署、河川管理局、水道局、保健所、農協、漁協等に連絡する。
悪臭等の発生の為、周辺住民に漏洩の生じたことを通報する等の適切な処理を行う。

回収、中和

- : 少量の場合 : 乾燥砂、おがくず、布等でふき取り、密閉出来る容器に回収する。
回収物は適切に廃棄処理する。

多量の場合：流出経路を毛布、土嚢などでせき止め、バキューム装置等で回収する。

封じ込め及び浄化の方法・機材

- ：危険でなければ漏れを止める。
- 漏出物を取り扱うときに用いる全ての設備は接地する。
- 付近の屑火源を速やかに取り除き、着火した場合に備え消火器を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意

- 技術的な対策
- ：保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材で作る。
 - 保管場所は、屋根を不燃材で作るとともに、金属板その他不燃材で拭きかつ天井を設けない。
 - 保管場所の床は床面に水が浸入し又は浸透しない構造とする。
 - 保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適当な傾斜を付けかつ適当な溜枳を設ける。
 - 保管場所には取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

保管

- 保管場所
- ：凍結、直射日光を避け、換気の良い屋内に保管する。
 - 保管時の温度は5℃以下及び40℃以上にならないようにする。
 - 使用後は皮張、腐敗防止のため密閉して速やかに使用する。
- 混触危険物質
- ：10、安全性及び反応性を参照。
- 安全な容器梱包材料
- ：消防法及び国連危険物輸送規則で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度：未設定

許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指数)

- ：日本産業衛生学会勧告値：未設定
- ACGIH勧告値：未設定

- 設備対策
- ：指定された防爆の電気・換気・照明機器を使用する。
 - 静電気放電に対する予防措置を講ずる。
 - 空気中の濃度をばく露限界以下に保つために排気用の換気を行う。
 - 高温で取り扱う工程でミストが発生する場合、空気汚染物質を管理濃度以下に保つために換気装置を設置する。
 - 密閉された装置、機器または局所排気を使用しなければ取り扱ってはならない。
 - 気中濃度を推奨された管理濃度以下に保つために、工程の密閉化、局所排気、その他設備対策を使用する。
 - この物質を貯蔵または取り扱う作業場には、洗顔器と安全シャワーを設置する。

保護具

- 呼吸器保護具
- ：呼吸用保護具(有機ガス用防毒マスク、エアラインマスク等)を着用する。
- 手の保護具
- ：耐油性保護手袋を着用する。
- 眼の保護具
- ：保護眼鏡(普段眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)を着用する。
- 皮膚及び身体の保護具
- ：保護着(帯電防止型)、保護靴(帯電防止型)を着用する。
- 衛生対策
- ：取扱い後はよく手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
色	: 淡青色透明
臭い	: データなし
臭いの閾値	: データなし
pH	: 7.0～8.0
融点／凝固点	: データなし
沸点／初留点	: データなし
引火点	: データなし
爆発範囲	: データなし
爆発圧	: データなし
蒸気密度(空気=1)	: データなし
密度	: 1.05～1.15g/cm ³
溶解度	: データなし
オクタノール／水分配係数	: データなし
自然発火	: データなし
分解温度	: データなし
蒸発速度	: データなし
燃焼性	: データなし
粘度	: 10～100mPa・s

10. 安定性及び反応性

安全性	: 密閉状態で、冷暗所では安定である。
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: 低温(5℃以下)及び高温(40℃以上)。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

二酸化スズ	
急性毒性	: 経口:ラット LD50>2000mg/Kg
五酸化アンチモン	
急性毒性	: データなし

12. 環境影響情報

水性環境急性有毒性	: データなし
水性環境慢性有毒性	: データなし
土壌中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 焼却する場合、関連法規・法令を遵守する。
 廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者や処分業者と契約し、廃棄物処理法及び関連法規・法令を遵守し適正に処理する。
- 汚染容器及び包装 : 空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者と契約し廃棄物処理法及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。

14. 輸送上の注意

- 国際規制
- 国連分類 : 非該当
- 国連番号 : 非該当
- 容器等級 : 非該当
- 特別の安全対策 : 運搬に際しては容器の漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
 移送時にはイエローカードの保持が必要。
 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。
 参考資料 : 日本エマルジョン工業会編「合成樹脂エマルジョンの輸送事故対策指針」

15. 適用法令

- 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)
 : 非該当
- 労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)すず及びその化合物(政令番号:322)
 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条第2項、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)アンチモン及びその化合物(政令番号:38)
- 消防法 : 非該当
- 水質汚濁防止法 : 指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3)
- 大気汚染防止法 : 有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質(中央環境審議会第9次答申)
- 労働基準法 : 疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号の1)
- 毒物及び劇物取締法 : 対象外
- 製品中の含有量や使用・保管する総数などの諸条件、また法令の改正により、必ずしも適用されるものではありません。
 詳しくは各法令をご確認ください。

16. その他の情報

- 参考文献 : GHS対応ラベル及びSDSの作成マニュアル～毒物・劇物のラベル作成者向け～
 厚生労働省医薬食品局 審査管理課化学物質安全対策室
 GHS危険有害性分類結果(製品評価技術基盤機構 NITE)
 GHS対応SDSラベル作成ガイドブック[混合物用(塗料用)]改定第4版
 一般社団法人 日本塗料工業会

記載内容は、現時点で入手できる資料・データ等に基づいて作成しておりますが、製品の適応性・安全性を保証するものではありません。取扱いには十分注意してください。
 このデータの使用による損失や損害について一切責任を負いません。ご使用者の責任において安全対策を実施の上、取扱い願います。